

2 暮らしたいまち薩摩川内 ～ 薩摩川内で暮らす～

(1) 基本目標

○人の流れをつくる魅力ある薩摩川内市へ

本市は、みどり豊かな本土地域、東シナ海に浮かぶ島嶼地域からなり、これら豊富な自然環境のもと、地域コミュニティの醸成もあり、また、比較的治安も良く、さらには、九州新幹線など交通アクセスも良好なことから、市民の定住意向も高く暮らしやすいまちです。

しかしながら、少子化や若年層の域外への進学・就職に伴う人口減少が顕著なことから、地元企業や大学等との連携による人材創出、移住・定住の推進強化を図ることで、若年層の流出を防ぎ、本市への転入増加を目指します。

数値目標	基準値	目標値 (H31)

(2) 施策の基本方向

1 薩摩川内への移住の推進

移定住に係る情報の一元化を図り、ワンストップで移住・定住希望者に向けたさまざまな情報やサービスを提供する体制づくりを進めるとともに、各種セミナーの開催等や、定住支援に向けた制度の充実を図ります。

また、地域おこし協力隊の導入拡大や支援プログラムの拡充により、本市の魅力を掘り起こし地域定着の促進を図ります。

2 大学との地域連携等による活性化

大学や地元企業等との連携を進め、定住につながる人材育成の機能強化と地域活性化に向けた取組みを進めます。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 薩摩川内への移住の推進

数値目標	基準値	KPI（重要業績評価指標 H31）

(1) 効果的な定住支援に向けた機能強化

定住者を増やすために、全国移住促進センターとの連携や、県が主催するかごしま暮らし・交流セミナー等への参加などを通じて、定住支援のための各種情報提供や相談体制の充実を図ります。

内 容	担 当
<ul style="list-style-type: none"> ○定住相談、不動産情報、雇用相談員の配置など関連機能と連携した雇用情報の提供 ○人材バンク、土地・建物の提供（空き家バンク）、スキルアップ、起業化支援等窓口紹介 ○定住希望者を対象とした短期インターンシップ支援 ○ホームページの機能強化による移住情報提供 ○都市での定住セミナー、雇用面接会の合同開催 	企画政策課

(2) 定住しやすい制度の充実

定住者を増やすために、地域事業者、金融機関、行政など地域総ぐるみの移住支援の環境づくりを進めます。また、通勤圏からの移住を図るため通勤助成を行います。

内 容	担 当
<ul style="list-style-type: none"> ○定住住宅取得補助金制度等の見直し ○新幹線通勤定期購入補助金等の拡充 ○金融機関と連携による定住、リフォーム等への支援 	企画政策課

(3) 地域おこし協力隊の導入拡大

地域おこし協力隊の導入や活動サポート等を通じた地域活性化と、地域への愛着向上に向けた取組みを進めます。

内 容	担 当
<ul style="list-style-type: none"> ○地域おこし協力隊の導入拡大 ○地域おこし協力隊の支援プログラムの拡充 	企画政策課

◇短期・中長期の工程表

	27 年度	28 年度以降
取組内容		

■施策② 大学との地域連携等による活性化

数値目標	基準値	KPI（重要業績評価指標 H31）

（１）地域産業を生み出す人材創出	
地域事業者におけるインターンシップ受入れや、大学との共同研究等により、地域が求める人材や技術面の交流を活発化します。	
内 容	担 当
○産学連携による人材育成の実践プログラムの開発 ○大学生の地元企業へのインターンシップ導入の推進	商工政策課
（２）地域活性化につながる人材活用	
大学との連携による教育の学外活動の場を提供することで、地域の特性、離島の有する豊かな自然や文化に接するなど、地域志向の人材養成や地域の再生・活性化を目指します。	
内 容	担 当
○大学生による地域との起業化等共同プログラムの推進	商工政策課 企画政策課
（３）新卒者等の転入促進・転出抑制	
大学を卒業した学生の地域内事業者への就職を促すため、また、一時的に域外流出した学生を域内転入・就職への支援を図り、若者の転入促進、転出抑制を目指します。	
内 容	担 当
○市内企業就職者への奨学金負担軽減への支援【再掲】	企画政策課

◇短期・中長期の工程表

	27 年度	28 年度以降
取組内容		